

都市環境デザイン会議 第16期定例総会 議事録

日時：2006年7月15日(土)12時30分～14時

場所：石川県教育会館(金沢市)

1. 開会

代表幹事の杉山朗子氏の司会により、定足数を満たしたということで都市環境デザイン会議第16期定例総会の開催が告げられ、続いて議長に代表幹事の堀口浩司氏が、書記に代表幹事の重山陽一郎氏、作山康氏、服部圭郎氏が、議事録署名人に高原浩之氏と北原良彦氏が選出された。

2. 議事

第1号議案 新役員承認の件

選挙管理委員長の伊藤洋氏から役員選挙の結果が報告された。

1) 代表幹事・監査役選挙の結果

代表幹事は、大矢京子氏、作山康氏、横川昇二氏、堀口浩司氏、埴正浩氏、松村みち子氏、高見公雄氏、重山陽一郎氏、須永淑子氏、服部圭郎氏の以上10名が選出された。監査役は、井口勝文氏、八木健一氏の以上2名が選出された。

2) ブロック幹事選挙の結果

北海道ブロックは辻井順氏、東北ブロックは渡辺敏男氏、北陸ブロックは谷明彦氏、関東ブロックは栗原裕氏、府川充氏、屋代雅充氏、山川良子氏、中部ブロックは集山一廣氏、関西ブロックは千葉桂司氏、中国ブロックは伊藤幹郎氏、四国ブロックは大西泰弘氏、九州ブロックは十時裕氏、琉球ブロックは石嶺一氏の以上13名が選出された。

第2号議案 第15期活動報告及び収支報告承認の件

第3号議案 第16期活動計画及び予算計画承認の件

3) 第15期活動報告

代表幹事の中井川正道氏より、第15期の活動が報告された。

活動概況

総会を地方で開催するなどブロック活動を支援し、また広報に力を入れるなどの取り組みを行った。

会員動向

第15期も入会者より退会者が多い。その結果、延べ8年で89名の会員が退会した。

代表幹事会の活動

会員数の減少に歯止めをかけるべく JUDI を活性化させることを目的に活動をしてきた。メールを活用した情報のネットワークの強化を図るなどして情報の発信に努め、各委員会の活動も一部停滞がみられたりしたが、それらの活動の目的をはっきりとして活性化を図っていくよう代表幹事会としては検討をしてきた。

4) 委員会

広報委員会の白濱力氏より、第15期の広報活動は、JUDI ニュースの内容を充実させ、対外的にアピールできるようにするという活動の方針を打ち出すこととし、巻頭言、それから実際のプロジェクト例、また地域地域が持っている旬の話題、地域のスポットなど、そういう作品を含めて地域の特色を発表できる場を設けていくこととするとのこと。また、ホームページの拡充、メルマガでの情報提供を JUDI では難しい点を補完する活動も展開していく予定であるとの報告があった。

研修委員会の松本篤氏からは、15期はいったん研修委員を少なくして、検討をしていくという期にしたとの説明があった。16期は、自治体やメーカーの若い方向けの特別講習会をまた復活させ、単年度ごとの演習ではあるが、2～3年にまたがる大きな流れをもった演習を行っていきたいと考えているとの報告があった。

事業委員会の伊藤登氏からは、15期は委員を一新し、何をするかを考えることに注力した時期であったとの説明があり、16期以降は学生と企業を結ぶ場、モニターメッセを JUDI 会員からメーカーに逆に情報発信する場として捉えられないかということを検討しているとの報告があった。

国際委員会の倉田直道氏からは、15期にはサステイナブルな環境づくりということで海外において活躍していた二名による国際セミナーを実施したとの説明があった。また、海外交流ツアーを15期については「ブラジルの年環境デザイン視察」ということで8月から現地を訪問することになっているとの説明があった。16期も国際セミナー等を企画しているとの報告があった。

美しい都市ランキング評価委員会の小浪博英氏からは、15期の評価活動は会員の協力で半分くらいが集まっており、翌日の研究会で内容は発表したいとの説明があった。16期は外部の協力者への必要経費が発生することに備えて25万円ほど計上しているとの報告があった。

5) ブロック

北海道ブロックの柳田良造氏より、15期は JUDI の北海道ブロックで調査を委託し、開発協会からの補助ももらい、都市ランキングを実施したりしているとの説明があった。そして、

16期は予算があるので、北海道の各地に出向き、いろいろと事業を行っていきたいと考えているとの報告があった。

東北ブロックの渡辺敏男氏からは、16期以降に活動をひとまとめにしたシンポジウムを開催したいと考えているので、積立金として予算を使えばとの要望があった。16期では、盛岡と一戸が街づくりの都市再生本部の支援事業として決まっているので、充実した活動をしていきたいとの報告があった。

北陸ブロックの谷明彦氏からは、毎年ブロック総会をやっているが、今回のフォーラムを今までの積立金で行ったとの説明があった。市民の目線に立ったパブリックアートプロジェクトというのを実施したとの報告があった。

関東ブロックの小浪博英氏からは、15期はフォーラムを実施しようとしたが、次期に延期させることになり予算を積立金として回したとの説明があった。16期はキャラバン、美しい都市ランキングなどをやっといこうと考えているとの報告がなされた。

中部ブロックの集山一廣氏からは、毎年一回行っていたデザインセミナー、ワークショップを15期は2回行い、今までの繰越金を使ったとの説明があった。また、JUDIとして広小路ルネッサンスに参画し、都市ランキング調査、大学との交流なども行った。16期は、デザインセミナーの開催を計画し、ランドスケープ的な地域の特色をまわるということをやり、河口堰を船でわたろうと思っているとのこと。それ以外では地域市民活動の講演、大学との交流を進めていこうと考えているとの報告があった。

関西ブロックの宮前保子氏からは、15期は都市環境デザインセミナーを8回開催し、国際セミナーとしてはブータンを訪問、さらに、毎年秋に行っている都市環境デザインフォーラムを行ったとの説明があった。それ以外ではフォーラムの小冊子などを印刷した。16期の活動は15期とおおむね同じであるが、都市環境デザインセミナーを10回ほど実施したいと考えているとの報告があった。

中国ブロックの伊藤幹郎氏からは、16年度は4回のイベントを考えており、歴史的景観保全ということで、10月にプロジェクトを福山の方で実施しようと考えているとの報告があった。

四国ブロックの大西泰弘氏からは、今までは毎年、四国地域の特定の場所をみてまわるということを実施し、隔年でシンポジウム、フォーラムを実施してきたのだが、15期はできなかったので記録集を編集したとの説明があった。16期は愛媛県でシンポジウムを開催するとの報告があった。

九州ブロックの十時裕氏からは、15期は本部の事業を中心に展開しておきており、16期も他のものに乗っかっていこうと考えているので、本部で何かあったらやっといこうと思っているとのこと。九州では、大学がセミナーとかをやるので、そういうものにも宿り木的に実施していきたいと考えているとの報告があった。

琉球ブロックの石嶺一氏からは、諸事情があり15期の活動がほぼ休止というような状況になったが、16期は奮起して会員9名、頑張っていきたいと思っているとの説明があった。公募制プロジェクトも本部にいったん活動費を返却し、再度、早速提出して継続的に実施していきたいと考えているとの報告があった。

6) 第15期収支報告および監査報告

代表幹事の中井川正道氏より、第15期の一般会計部門と特別会計部門の収支報告があった。質問は特になく、続いて監査役の井口勝文氏より下記の通り監査報告があった。

「間違いなく正しく執行されている。ただし、特別会計で、ブロックのもので注意してもらいたいのは、支出の部で最後に繰越金があるが、これは全合計金額の1割以内にすることに留意。これを超えるものは、本部会計に返却してもらいたい。それが出来ない場合は、会計年度をまたがる事業について目的と使用期日を代表幹事会に申請した上で積立金として留保することになるので気をつけて欲しい。」

7) 第16期の活動方針と収支計画

代表幹事の松村みち子氏より、16期の活動方針について、会員拡大の取り組み、発信していくJUDIというのを方針として掲げているとの説明があった。そして準会員制度、サポーターの獲得、などを検討しているとのこと。具体的な活動内容としては、JUDIリーフレットの作成、ホームページの充実。後者は広報委員の中にHP担当を設け、日常的な情報の発信をしていこうと考えている。また、メールでも入会できるような入会手続きの簡素化、協力法人制度の見直しも行いたいと考えているとの報告があった。また同氏より収支計画書の説明があった。

3. 議決

満場一致で第一号議案、第二号議案、第三号議案がすべて承認された。

4. 報告

代表幹事の柳田良造氏より、公募制プロジェクトの募集を行なうこと、JUDIで活躍して亡くなられた方に関して特別功労賞のような制度の設置を検討しているとの報告があった。

以上をもって全議事を終了した。

以上この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人は次に署名、捺印する。

2006年7月15日

議 長 堀 口 浩 司

議事録署名人 高 原 浩 之

議事録署名人 北 原 良 彦